

【新型コロナウイルス感染症の影響による入学者選抜について】

今後の感染状況によっては、入学者選抜の日程や選抜方法等に変更が生じる可能性があります。変更が生じた場合、ホームページ等でお知らせします。

兵庫県立大学理学部・大学院ホームページ

<https://www.sci.u-hyogo.ac.jp/entrance/exam/daigakuin.html>

令和5年度(令和5年4月入学)

**兵庫県立大学大学院
理学研究科(生命科学専攻)
(博士前期課程推薦入学試験)**

一般学生募集要項

【連絡先】

郵便番号 678-1297
赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号
兵庫県立大学播磨理学キャンパス
経営部学務課
電話(0791)58-0102(直通)

令和 5 年度
兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)
(博士前期課程推薦入学試験)

一般学生募集要項

本大学院理学研究科においては、下記の要領により令和 5 年度の入学者を募集します。

- 1 募集人員
生命科学専攻 若干名
- 2 出願資格及び推薦条件

学業及び人物ともに優れ、在籍している大学の学長もしくは学部長又は高等専門学校の専攻科長又はそれに準ずる者が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 令和 5 年 3 月末までに、大学を卒業見込みの者及び大学を卒業した者
- (2) 令和 5 年 3 月末までに、高等専門学校専攻科を修了見込みの者で、かつ、学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者及び高等専門学校専攻科を修了した者で、かつ、学位授与機構から学士の学位を授与された者

3 出願書類

出 願 書 類 等	備 考
① 入学願書 (写真票、受験票を含む。)	本学所定の用紙を使用し、写真票及び受験票に写真を貼付のこと。
※② 卒業見込証明書	様式は任意
※③ 成績証明書	様式は任意
④ 志望理由書	本学所定の用紙
⑤ 推薦書	本学所定の用紙
⑥ 入学意思確認書	本学所定の用紙
⑦ 入学考査料	30,000 円 ゆうちょ銀行が令和 4 年 4 月 1 日以降に振り出した「普通為替証書」による。ただし、証書には、何も記入しないこと。
※⑧ 受験票等返送用封筒	定型封筒に郵便番号、住所及び氏名を記入し、344 円分の切手を貼付すること。
⑨ 入学手続関係書類送付用封筒 (角 2 号)	学務課において指定する封筒に、送付を希望する住所、氏名 (本学学生については学生番号及び講座名も) を記入する。切手は添付不要。

(注) 本学理学部からの志願者は、※印のものは提出しなくてよい。
なお、本学理学部からの志願者には、播磨理学キャンパス経営部学務課において受験票を渡す。

4 選抜方法、期日及び試験場

入学者の選抜は、小論文試験、面接試験及び書類審査の結果を総合して判断する。
(本学理学部からの推薦を受けた者は、小論文を免除する。)

(1) 実施年月日

令和4年7月2日(土)

(注) 台風等の悪天候により、令和4年7月2日(土)午前9時の時点で兵庫県赤穂郡上郡町に「暴風警報」又は「特別警報」発令の場合は、令和4年7月9日(土)に順延する。

(2) 小論文試験

月 日	時 間 帯	場 所 (試験会場)
7月2日(土)	10時～11時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

(3) 面接試験

月 日	時 間 帯	場 所 (試験会場)
7月2日(土)	13時～	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

5 合格発表

令和4年7月20日(水) 午後4時

※ 合格者には郵便により通知する。
また、参考情報として同時刻頃より本理学部・大学院ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

その他注意事項

1 出願方法

出願者は、必要書類等を一括して下記の書類等提出先へ持参又は郵送すること。

書類等提出先
〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号 兵庫県立大学播磨理学キャンパス 経営部学務課
TEL(0791)58-0102 FAX(0791)58-0131

郵送出願の場合は、封筒に必ず「理学研究科（生命科学専攻）博士前期課程推薦入学試験一般学生（令和5年4月入学）出願書類在中」と明記し、書留速達で送付すること。

2 出願期日

令和4年6月6日(月)から6月13日(月)まで(必着)

各日とも受付時間帯は、午前9時から12時まで、午後1時から午後4時までとする(ただし、土曜日及び日曜日は除く)。

なお、郵送の場合は、令和4年6月13日(月)午後4時までに必着のこと。

3 入学料及び授業料

(令和5年度入学者徴収予定額)

区 分		入学期	10月	計
入 学 料	甲(県内)	282,000円	—	282,000円
	乙(県外)	423,000円	—	423,000円
授 業 料	博士前期課程	267,900円	267,900円	535,800円

(注)

(1) 入学料、授業料の金額が改正された場合は、改正後の金額による。

(2) 甲は次の各号のいずれかに該当する者に、乙はその他の者に適用する。

ア 入学日(令和5年4月1日)の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

イ 配偶者又は1親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

ウ 兵庫県立大学の学部から本大学院博士前期課程に引き続き入学する者

4 注意事項

既に納付された入学考査料は、理由の如何にかかわらず返還しない。

5 入学手続期間

入学料の納付及び入学関係手続書類の提出は、来年3月初旬(授業料の納付は5月末)の予定であり、合格者に来年2月下旬に手続書類を送付する。

なお、納付した入学料は、理由の如何にかかわらず返還しない。

長期履修制度の導入について

1. 趣旨

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象としています。事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。

2. 出願資格

長期履修学生として出願することができる者は、入学資格を有する者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 職業を有する者(正規職員以外も含み、主としてその収入で生活を立てている者)
- (2) 育児、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) 病気等その他やむをえない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると研究科が認めた者

3. 履修期間

長期履修学生の履修期間は、博士前期課程(修士課程)にあつては3年以上4年まで、博士後期課程にあつては、4年以上6年までとなります。なお、長期履修を認める期間は1年単位です。

4. 長期履修制度に係る授業料

兵庫県立学校授業料等徴収条例で定められた大学の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修学生として認められた履修期間(以下、「長期履修期間」という)の年数で除した額とします。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、再計算されます。

$$\text{長期履修学生の年間の授業料} = \frac{\text{通常の授業料} \times \text{標準修業年限}}{\text{長期履修期間の年数}}$$

5. 長期履修期間の延長

長期履修期間の延長は、認められません。

6. 長期履修期間の短縮

長期履修学生が長期履修期間を満了しないうちに課程を修了する必要単位数を取得する見込みのある場合は、長期履修期間の短縮をすることができます。

なお、履修期間を短縮する場合は、短縮を認められるときに短縮に係る授業料の差額が必要となります。

※ 長期履修を希望する者は、事前に志望分野の教授の説明を受けること。

生命科学専攻分野研究一覧

令和4年4月現在

専攻	部門	分野	研究内容
生命科学専攻	生物物質構造解析学	生物物質化学Ⅰ 教授 阪口 雅郎 准教授 衣斐 義一	<ul style="list-style-type: none"> 膜タンパク質の細胞内局在制御機構 生体膜に局在する生体防御タンパク質群の遺伝子発現と機能の制御
		生物物質構造学Ⅰ 教授 緒方 英明 准教授 柴田 直樹	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の細胞機能を維持するタンパク質群の構造化学 高等生物細胞のタンパク質間相互作用のX線構造生物学 味覚修飾効果を持つタンパク質の作用機構解明 産業応用可能な有用酵素の構造機能相関の研究
		生物物質構造学Ⅱ 教授 久保 稔 准教授 柳澤 幸子	<ul style="list-style-type: none"> 時間分解分光計測による酵素反応の動的解析 タンパク質アロステリーの生物物理学 表面増強振動分光法の開発と膜タンパク質の構造機能解析 二機能性タンパク質がもつ天然変性領域の動的構造研究
		細胞制御学Ⅱ (特命教授 城 宜嗣) 准教授 村本 和優	<ul style="list-style-type: none"> 一酸化窒素還元酵素の構造機能解析 センサー蛋白質の構造機能研究 ヘム輸送の構造生物学
		生物物質化学Ⅱ 教授 吉田 秀郎 准教授 佐々木 桂奈江	<ul style="list-style-type: none"> ゴルジ体ストレス応答の研究 小胞体ストレス応答の研究 細胞小器官の量的調節機構の研究
	生物物質機能解析学	分子機械学 教授 吉久 徹 准教授 *園部 誠司 (R5.3 定年退職)	<ul style="list-style-type: none"> 真核生物の tRNA をはじめとする低分子 RNA の細胞内動態研究 mRNA の機動的な翻訳制御・品質管理に関する研究 植物細胞における原形質流動の機構
		生体情報学Ⅱ 教授 西谷 秀男 准教授 塩見 泰史	<ul style="list-style-type: none"> 細胞周期における染色体複製の制御機構 細胞周期の開始と進行の制御機構 染色体構造安定性の新規な制御機構 染色体制御とゲノム維持機構
		生体分子合成 教授 水島 恒裕 准教授 山内 大輔	<ul style="list-style-type: none"> ユビキチン修飾により制御される生命現象の構造生物学的研究 病原細菌タンパク質の構造機能研究 SPring-8 マイクロ CT を使った植物細胞・組織の3Dイメージングの研究 微生物由来菌体外多糖質の合成機構の解明

生 命 機 能 科 学 専 攻	細胞機能学 教授 生沼 泉 准教授 廣瀬 富美子	<ul style="list-style-type: none"> ・生体内分子スイッチ低分子量 G タンパク質のシグナル研究 ・脳神経細胞やがん細胞の形態や運動の調節機構の研究 ・網膜変性疾患の分子機序の解明 ・クロマチン構造変換による遺伝子発現調節機構 ・分裂期における核ラミナとクロマチンの相互作用機構
	細胞構造学 教授 宮澤 淳夫 准教授 菓子野 康浩	<ul style="list-style-type: none"> ・神経筋接合部における神経情報の伝達機構の研究 ・電子顕微鏡法による生体分子の構造と機能の解析 ・光合成電子伝達系の構造・機能と調節機構 ・微細藻類の光合成機能の解析および環境問題解決への応用利用系の開発
	生体情報学 I 教授 八田 公平 准教授 二階堂 昌孝	<ul style="list-style-type: none"> ・脳神経細胞回路の発生・機能、および、行動の分子遺伝学 ・脳腸相関および腸神経系の発生、機能、再生機構 ・トランスジェニック・ゼブラフィッシュと SPring-8 高解像度マイクロナノ CT を用いた器官発生のイメージング解析 ・魚類の咽頭顎の運動、および、脊椎動物の摂食行動の進化
	細胞制御学 I 教授 梅園 良彦 准教授 餅井 真	<ul style="list-style-type: none"> ・プラナリアの再生制御機構 ・アフリカツメガエル幼生の再生制御機構 ・生殖系幹細胞の分化制御機構
地球環境科学	地球科学 教授 後藤 忠徳 講師 萩谷 健治	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球のダイナミクスと地震・火山現象の理解 ・地下可視化技術の開発と資源探査・環境保全への適用 ・鉱物の X 線回折法による研究

連携大学院	生体物質構造解析学	生体高分子動的構造解析学 客員教授 山本 雅貴 客員教授 吾郷 日出夫 国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター (佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕)	<ul style="list-style-type: none"> • SPring-8 蛋白質結晶構造解析ビームラインの高度化研究 • クライオ電子顕微鏡による生体高分子の単粒子解析 • 蛋白質構造解析での新規解析手法の研究・開発 • 疾病関連蛋白質の構造機能研究
	生体物質機能解析学	生体高分子超精密計測学 客員准教授 佐藤 耕世 客員教授 大岩 和弘(兼任) 国立研究開発法人情報通信研究機構 構未来 ICT 研究所 (神戸市西区)	<ul style="list-style-type: none"> • ショウジョウバエの行動遺伝学研究 • 生きたショウジョウバエにおける単一ニューロンの活動解析 • 単一ニューロンのトランスクリプトーム解析 • ゲノム編集による単一ニューロンの可視化と操作 • 高精度な行動解析システムの構築
	細胞機能解析学	細胞膜超分子複合体機能解析学 客員教授 杉本 宏 客員准教授 當舎 武彦 国立研究開発法人理化学研究所 放射光科学研究センター (佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕)	<ul style="list-style-type: none"> • SPring-8 と SACLA を利用した金属酵素の構造機能研究 • ヘム鉄や金属イオンの輸送を担うタンパク質の構造機能研究
	発生・再生学	発生・再生学 客員教授 林 茂生 客員准教授 清成 寛 国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター (神戸市中央区)	<ul style="list-style-type: none"> • ショウジョウバエの形態形成研究 • 発生工学技術を用いた遺伝子改変動物の開発

前期(推薦・一般)

令和5年度(4月入学)

兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)
博士前期課程 入学願書

受験番号	※	志望専攻	生命科学		専攻	
フリガナ					本籍	県名 (外国人の場合は国名)
氏名						〔 〕
生年月日	西暦	年(昭和 平成)	年) 月 日生	歳		
出願資格	大学		学部	科	卒業・卒業見込	
第1志望分野			第2志望分野			
第3志望分野			※第3志望まで必ず記入すること。			
本人の住所	〒		電話()	-		入学審査料 領収印
父母等 連絡先	氏名			志願者との 続柄	※	
	現住所	〒		電話()	-	

※裏面もすべて記入すること。

前期(推薦・一般)

令和5年度(4月入学)

兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)

博士前期課程 写真票

受験番号	※			
フリガナ				
氏名				
生年月日	西暦 (昭和 平成)	年	月	日生
出身大学	大学	学部	科	
写真貼付欄				
受験票に貼付した ものと同一である こと。				
入学審査料 領収印				

前期(推薦・一般)

令和5年度(4月入学)

兵庫県立大学大学院理学研究科(生命科学専攻)

博士前期課程 受験票

受験番号	※			
フリガナ				
氏名				
生年月日	西暦 (昭和 平成)	年	月	日生
出身大学	大学	学部	科	
写真貼付欄				
写真(出願前3か月 以内に撮影した正面 無帽上半身タテ4.5cm ヨコ3.5cm)を貼付す ること。				
入学審査料 領収印				

学 歴	西暦 (平成	年	月	大学入学	◎注 意 1 研究科名、性別、本籍及び出願資格の欄の該当文字を○で囲むこと。 2 ※印のところは記入しないこと。 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること。 4 学歴は大学入学時から記入すること。 5 この用紙は切り離さないこと。
	西暦 (平成	年	月	大学卒業 (見込)	
	西暦 (平成	年	月		
	西暦 (平成	年	月		
	西暦 (平成	年	月		
	西暦 (平成	年	月		
職 歴	西暦 (平成	年	月		
	西暦 (平成	年	月		
	西暦 (平成	年	月		
	西暦 (平成	年	月		
	西暦 (平成	年	月		

前推

志 望 理 由 書

志望専攻名	理学研究科 生命科学専攻
-------	--------------

出身大学名	
-------	--

ふりがな	
氏 名	

志望理由：

(注) 志願者が自筆又はワープロ（10ポイント以上）で記入すること。

前推

(学 外)

令和 年 月 日

推 薦 書

兵庫県立大学大学院理学研究科長 様

所 在 地

大 学 名

学長（又は学部長）

印

下記の者は、学業及び人物ともに優れ、貴研究科の推薦要件等に該当すると思われるので、責任をもって推薦します。

記

ふりがな

1. 学生氏名

(男・女)

2. 推薦専攻

理学研究科 生命科学専攻

3. 推薦理由

なお、被推薦者については、この推薦入学試験に合格した場合には必ず貴研究科に入学するとの意思を確認しました。

前推

(理学部)

令和 年 月 日

推薦書

理学研究科長 様

学部長 (又は指導教授名)

印

下記の者は、学業及び人物ともに優れ、貴研究科の推薦要件等に該当すると思われるので、責任をもって推薦します。

記

ふりがな

1. 学生氏名

(男・女)

2. 推薦専攻

理学研究科

生命科学専攻

3. 推薦理由

なお、被推薦者については、この推薦入学試験に合格した場合には必ず貴研究科に入学するとの意思を確認しました。

令和 年 月 日

入学意思確認書

兵庫県立大学大学院理学研究科長 様

兵庫県立大学大学院理学研究科（生命科学専攻）の推薦入学試験に合格した
場合には、必ず貴研究科に入学することを確約します。

_____ 大学

_____ 学部

_____ 学科

氏名 _____ (印)